

IoT時代のワンポイント講座

地図・地球データ

第15回 My位置付きデータを オンライン地図から使うには

平野 匡伸

● 位置情報を地図以外でも利用する

デジタル地図では、地形図や住宅地図などを背景として、いろいろな位置情報(ポイント・データ)を重ねて表示できます(本稿ではウェブ・マップという)。このようなポイント・データは地図上でのマーカーとしてだけでなく、さまざまな用途に利用可能です。

最近ではGPSモジュールやスマートフォンの普及によって位置情報付きの写真やセンサ・データの取得が容易になりました。この情報をポイント・データとしてサーバに保存しておけば、いろいろなアプリケー

ションから呼び出して使えそうです。

- My農場における温湿度の表示
- 健康管理ソフトウェアから消費カロリの計算

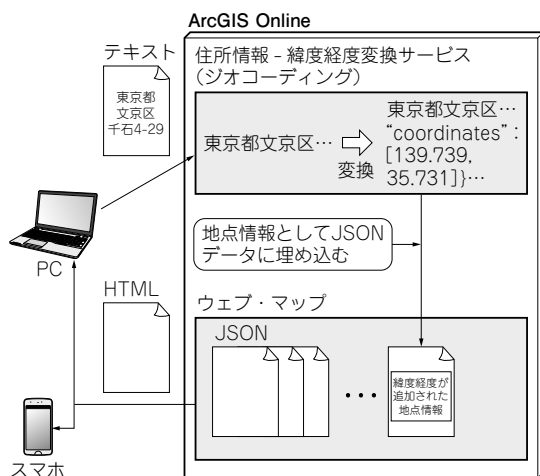
ここでは、自分で取得したポイント・データを、オンライン地図に表示するために、サーバ(ここではArcGISオンライン)にアップロードします。

今回のポイント・データのような、ウェブ・マップに追加するデータを主題データと呼びます。おのおのウェブ・マップへの関連付け方としては、図1に示す通り「埋め込み型」と「外部参照型」の2種類があります。埋め込み型は、My主題データをオンライン地図から利用できます。外部参照型は、My主題データを地図以外のサービスからも利用できます。今回は主題データを住所情報から得る方法に加え、ウェブ・マップでの主題データの持ち方をもう少し踏み込んで説明します。

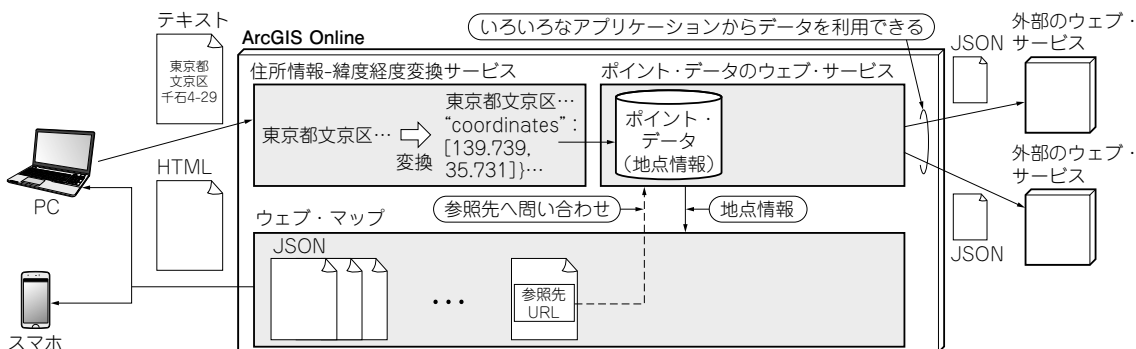
Myカスタム・データを オンライン地図にUPする前に

● オンライン地図の便利機能：住所-緯度経度変換

本連載の第1回(2018年3月号)で、住所-緯度経度変換を行うジオコーディングという機能を紹介しました。この住所-緯度経度変換を使用すれば、友人の住所録のような個人的なデータや、顧客一覧、物件一覧といったビジネス用の住所データを、地図上の位置を



(a) オンライン地図に埋め込む



(b) 外部参照できるようにすると地図以外のサービスからも使える

図1 My位置付きデータをオンライン地図と関連付ける主な方法